

福祉・防災のまちづくりの願いを大東議員へ みなさんの願い実現に全力！

17日告示、24日投票の市議会議員選挙が目前に迫りました。今回の市議会議員選挙は、東日本大震災で被災された方々の受け入れ、生活再建の支援をすすめることや、福島原発の事故から市民のくらしと風評被害から、沼田の農業や観光などの産業を守ることが求められています。

被災者の受け入れを積極的におこなうことは、市民のくらしを支え、福祉のまちづくりをすすめることにつながります。

医療、介護、子育てなどの基盤が整備され、ネットワークがあってこそ、災害時にも市民の生命と財産を守ることができます。

大東議員は、みなさんの声をまっすぐ市政にとどけ、福祉・防災のまちづくりの願い実現に全力をつくします。

市役所の2階に避難者支援の「総合相談窓口」を設置 市内宿泊施設に500人を受け入れ予定 5日現在で利用者はなし

沼田市では震災で沼田市に避難されてきた方々のために、市役所2階に職員を常駐させ「総合相談窓口」を設置しました。

4日までに約30件の相談があり、子どもの就学についての相談や避難者への生活物資の支援などをおこなってきました。

4月からは老神温泉など市内の宿泊施設に、500人受け入れることにしました。

5日現在での利用者はなく、さらに避難者の積極的な受け入れに取り組み、避難者の方々の不安を取り除くために、沼田市も力をつくすことが大切です。

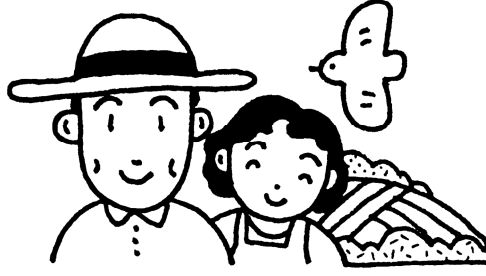
集落支援員の活用で地域の再生を 3月議会で大東議員が提案

集落支援員は、総務省が財政的支援をおこない、山間地域などの過疎・高齢化がすすむ地域の再生に取り組む制度です。

利根町には現在1人の集落支援員が小松、柿平の高齢者宅などを訪問し、安否確認などをおこなっています。

大東議員は3月議会の一般質問で、「集落支援員を増員し、鳥獣被害対策や買い物支援など、安心してらせる地域の再生」を求めました。

市長は、「他市の状況などを調査し、検討したい」と答えました。



東日本大震災への救援募金にご協力ください

大東議員が下記の所へご連絡ください。

連絡先 日本共産党利根沼田地区委員会

電話 23-1519

2011年4月10日 NO. 254

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料



沢の上に橋をかけ流れる川場用水



避難が求められている住民の困難も深刻化するばかりで、政府は「いままぐ」危険はないといいつづけるだけでなく、住民の不安拡大にこたえ、情報と対策を示し、農家などへの被害補償を早急におこなう必要があります。

避難が求められている住民の困難も深刻化するばかりで、政府は「いままぐ」危険はないといいつづけるだけでなく、住民の不安拡大にこたえ、情報と対策を示し、農家などへの被害補償を早急におこなう必要があります。

避難が求められている住民の困難も深刻化するばかりで、政府は「いままぐ」危険はないといいつづけるだけでなく、住民の不安拡大にこたえ、情報と対策を示し、農家などへの被害補償を早急におこなう必要があります。

避難が求められている住民の困難も深刻化するばかりで、政府は「いままぐ」危険はないといいつづけるだけでなく、住民の不安拡大にこたえ、情報と対策を示し、農家などへの被害補償を早急におこなう必要があります。

ぶらい散歩 めまた道 白沢町 二下古語父

諏訪神社の宝篋印塔と石仏群



宝篋印塔とした諏訪神社の石仏群

上古語父と下古語父はもともと一つの村でしたが、貞享3年（1686）の検地帳では、上古語父と下古語父にわけられているので、それより少し前にわけられたと考えられています。

下古語父の諏訪神社には、武尊宮、稻荷宮、菅原宮などの社が祀られ、舞殿下の石段の下の両脇には、道祖神や馬頭観音、地藏尊、庚申塔、如意輪観音などの石仏があり、神仏が分離せず、合祀の形態をよくとどめています。

石仏群のなかにある宝篋印塔は、宝永元年（1704）に建てられたもので、年代的には古いもので、市の重要文化財に指定されています。

沼田城が築かれる時に、白沢用水がひかれ、その後、城下の人口が増えたことなどから、介堰として川場村の薄根川から水を引いたのが川場用水です。

川場用水は、真田信吉の時代につくられました。